

AED Trainer 3

Directions for Use

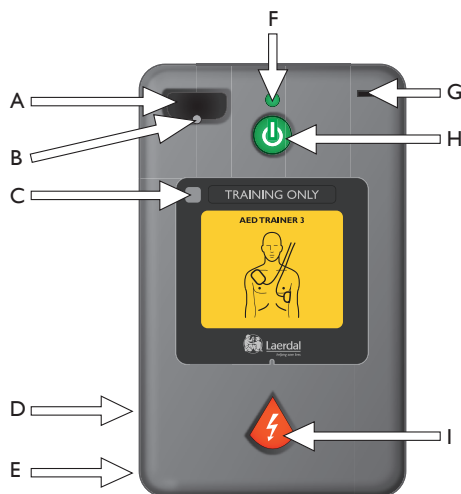


www.laerdal.com



Laerdal
helping save lives

AEDトレーナ3のユーザーインターフェイス



- A. **トレーニングパッドコネクタポート** - トレーニングパッドのコネクタプラグの差し込み口。
- B. **パッドコネクタLED** - 電源を入ると点滅して、ポートの位置を示します。パッドコネクタのプラグが正しく接続されると、差し込まれたコネクタのプラグによってLEDが覆われるため、点滅が止まります。
- C. **リモコン受信部** - オプションのリモコンからの信号を受信します。
- D. **スピーカー** - AEDトレーナ3の音声メッセージを流します。スピーカーの音量は、リモコンで調整したり、機器の設定メニューで設定できます。
- E. **コネクタ** - 現段階では使用しません。
- F. **使用準備完了ランプ（緑）** - AEDトレーナ3の電源を入ると点灯します。リモコンから指示を受信すると点滅します。機器を使用していない場合はオフになります。

- G. **小児用キーポート** - トレーニング用小児用キーの差し込み口。キーを差し込むと、AEDトレーナ3は小児モードで動作し、8歳未満または体重25kg未満の小児に対する除細動のシミュレーションを行います。
- H. **電源ON/OFFボタン（緑）** - AEDトレーナ3の電源を入ると、音声メッセージを開始します。
- I. **ショックボタン（オレンジ）** - シミュレーションのショック実行を制御します。シナリオ中にショックが必要と判断された場合は、このボタンが点滅します。
- J. **バッテリースロット** - AEDトレーナ3の電源として使用する単三型アルカリ電池4本（交換可能）を装着します。
- K. **オペレーティングシステムカード** - AEDトレーナ3のオペレーティングシステム、音声メッセージ、機器設定が含まれています。AEDトレーナ3を使用するには、オペレーティングシステムカードを挿入する必要があります。

キットの内容

はじめに

概要と使用目的	28
特長	28

同梱されている内容

標準パッケージの内容	29
------------	----

AEDトレーナ3のセットアップ

オペレーティングシステムカードの確認	30
バッテリーの装着	30
言語の選択	31
設定の変更	32
トレーニングパッドの接続	33
トレーニング用小児用キーの使用	35

AEDトレーナ3の使用

トレーナーの使用準備	36
トレーニングシナリオの選択	38
トレーニングシナリオの実行	38

付録

パラメータの設定	40
トレーニングシナリオ	42
リモコン	44
トラブルシューティング	45
仕様	46
関連規格/規制について	47
記号の定義	47

はじめに

概要と使用目的

AEDトレーナ3は、ハートスタートFR3自動体外式除細動器（以下FR3）および他のAEDの緊急時の使用に備えて、使用方法をトレーニングできるよう設計されています。AEDトレーナ3を、推奨マネキンと併用することで、実際と同様のトレーニングを提供することができます。これは、突然心停止状態の傷病者へのショックの適用や、CPRを含む適切な処置に関するリアルなトレーニングを実現します。

AEDトレーナ3には8種類のトレーニングシナリオがあり、実際の突然心停止（SCA）の症状のシミュレーションを行い、緊急時のFR3の使用に対する理解を深めることができます。シナリオは、国際的に認められたプロトコルに沿って開発されたトレーニングプログラムに対応しています。

AEDトレーナ3の工場出荷時の初期設定は、ERC（European Resuscitation Council）およびAHA（American Heart Association）のガイドライン2010に準拠しています。本製品は、施設のプロトコルやガイドラインの更新に適合するように設定することもできます。



注記：ハートスタートFR3を使用する前に、AEDトレーナ3の使用を含む適切な心肺蘇生トレーニングプログラムを修了してください。意識がない、または呼吸が停止しているといった傷病者の状態判断、心肺蘇生法（CPR）、該当する医療プロトコルや手順の内容に習熟している必要があります。

特長

AEDトレーナ3は、FR3の動作を再現するよう設計されています。ただし、高電圧の機能を備えていないので、トレーニング中の安全が保証されます。ショック実行のシミュレーションが行われます。

AEDトレーナ3は、以下のFR3の主要な機能のトレーニングの実施に使用できます。

- 除細動処置のすばやい実行。AEDトレーナ3のキャリングケースには、FR3ハードシステムケースの自動オン機能が再現されています。ケースを開けると、AEDトレーナ3の電源が自動的にオンになります。
- パッドのプリコネクト。FR3と同様に、AEDトレーナ3ではプリコネクトされたパッドが使用可能なので、速やかな処置に役立ちます。
- 小児用キー。AEDトレーナ3に付属されているトレーニング用小児用キーで、FR3の小児モードが再現できます。
- 音声メッセージ。AEDトレーナ3は、FR3と同様の音声メッセージでトレーニングシナリオの各手順を案内します。
- 詳細設定機能。FR3と同様に、AEDトレーナ3の設定はカスタマイズ可能です。必要に応じて簡単に動作を変更できます。



注記：トレーニング用小児用キーはFR3では使用できません。FR3での使用にはFR3小児用キーが必要です。

同梱されている内容

標準パッケージの内容

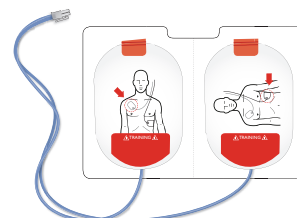
AEDトレーナ3には標準で以下が含まれています。

- AEDトレーナ3 ×1
- キャリングケース/ソフトケース ×1
- トレーニング用小児用キー
(キャリングケースに固定紐で取り付け済み) ×1
- トレーニングマネキン用外部アダプタ ×1
- AEDトレーナ3オペレーティングシステムカード (挿入済み、AEDトレーナ3オペレーティングシステムおよび設定プログラムを含む) ×1
- ハートスタートトレーニングパッドⅢ接続ケーブル (リユーザブル) ×1
- ハートスタートトレーニングパッドⅢ (リユーザブル) ×1セット
- 取扱説明書 (印刷物、英語および日本語) ×1
- クイックスタートガイド (多言語) ×1
- 「トレーニング専用」ステッカー (多言語) ×1
- 単三アルカリ電池 ×4 (図には含まれていません)

最新版の予備部品とアクセサリについては、
www.laerdal.com/jp/ をご覧ください



AEDトレーナ3



フィリップス製トレーニングパッドⅢ



トレーニングパッドⅢ接続
ケーブル (リユーザブル)



トレーニング用小児用キー



オペレーティング
システムカード



キャリングケース



ソフトケース

AEDトレーナ3のセットアップ

AEDトレーナ3の動作をセットアップするには、オペレーティングシステムカードが適切に挿入されていることを確認し、バッテリーを装着し、U.S. English（米国英語）以外の言語を使用する場合は言語を選択し、トレーニングパッドを接続する必要があります。これらの各タスクについて、以下で説明します。

オペレーティングシステム・カードの確認

AEDトレーナ3オペレーティングシステムカードには、AEDトレーナ3のオペレーティングシステムが含まれています。AEDトレーナ3は、オペレーティングシステムカードがあらかじめ挿入された状態で出荷されます。

オペレーティングシステムカードの取り外し、再挿入、交換は、以下の手順に従って行います。

- 1 バッテリスロットの蓋に付いているラッチを押して、蓋を取り外します。取り外した蓋は側に置きます。
- 2 オペレーティングシステムカードがバッテリスロット上部のスロットに挿入されていることを確認します。挿入されていない場合は、オペレーティングシステムカードを図に示す方向で取り付けます。



バッテリーの装着

AEDトレーナ3には単三型アルカリ電池が4本必要です。AEDトレーナ3へのバッテリーの装着と交換は、以下の手順に従って行います。

- 1 バッテリスロットの蓋に付いているラッチを押して、蓋を取り外します。取り外した蓋は側に置きます。
- 2 スロット内の図に従い、バッテリスロットに単三型アルカリ電池4本を装着します。

 **注記：** 同じタイプの新しい電池のみを使用してください。

- 3 バッテリスロットの蓋を取り付けます。
- 4 AEDトレーナ3をケースに戻します。



言語の選択

AEDトレーナ3の初期設定の言語は、U.S.English（米国英語）です。AEDトレーナ3を別の言語に設定するには、以下の手順に従います。

- 1 緑の電源ON/OFFボタンとオレンジのショックボタンの両方を約6秒間押し続けます。AEDトレーナ3から初期設定の言語「US English」のアナウンスが流れます。
- 2 両方のボタンを離します。
- 3 オレンジのショックボタンを押したまま、使用可能な言語をスクロールします。AEDトレーナ3が新しい言語を順にアナウンスします。
- 4 希望する言語がアナウンスされたら、緑の電源ON/OFFボタンを押してAEDトレーナ3の電源をオフにし、選択言語を保存します。次回にAEDトレーナ3の電源をオンにしたときは、この言語が使用されます。*
- 5 下図に従って、選択言語に該当する「トレーニング専用」ステッカーを貼ります。

* AEDトレーナ 3は、電源ON/OFFボタンまたはショックボタンのどちらを押しても、電源をオンにできます。



設定の変更

AEDトレーナ3の出荷時設定は、FR3の工場初期設定を再現しています。施設のプロトコルや他のトレーニング目的でAEDトレーナ3の設定を変更する場合は、以下の手順に従います。

- 1 バッテリスロットの蓋に付いているラッチを押して、蓋を取り外します。取り外した蓋は側に置きます。
- 2 オペレーティングシステムカードをバッテリスロット上部のスロットから取り外します。
- 3 オペレーティングシステムカードをコンピュータのカードスロットに挿入します。スロットがない場合は、標準のカードリーダーに挿入し、カードリーダーをコンピュータに接続します。
- 4 AEDトレーナ3の設定プログラムを開き、設定する際に使用する言語を選択してください。
- 5 「開く」をクリックし、オペレーティングシステムカードが挿入されたドライブを指定します。
- 6 「システム」をクリックしてから「設定」をクリックし、「Config.Dat」ファイルを開いて、既存のAEDトレーナ3セットアップをプログラムにロードします。
- 7 プログラムで、必要に応じてパラメータ設定を調整します。使用可能な設定の詳細については、40ページを参照してください。



- 8 必要な変更をすべて行ったら、「更新」をクリックします。
- 9 「終了」をクリックして、設定プログラムを閉じます。
- 10 コンピュータまたはカードリーダーからオペレーティングシステムカードを取り外して、AEDトレーナ3に挿入します。カードの挿入手順については、30ページを参照してください。AEDトレーナ3の設定は、次回にAEDトレーナ3の電源をオンにしたときに自動的に更新されます。

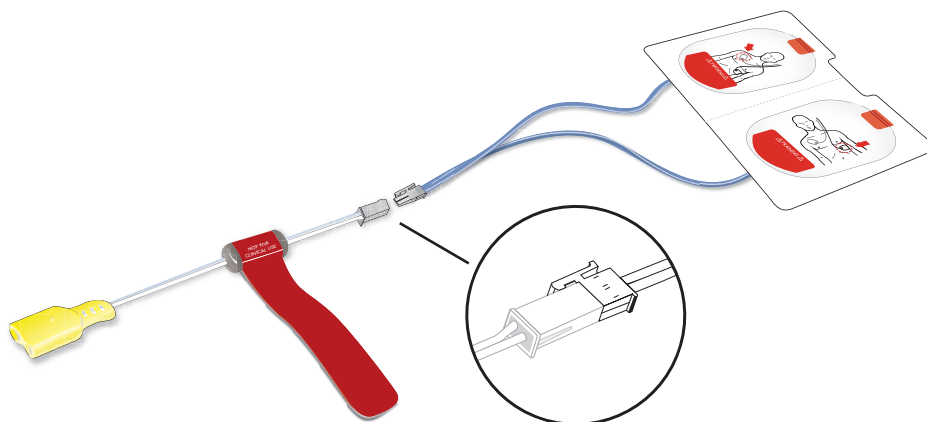
トレーニングパッドの接続

AEDトレーナ3では、ハートスタートトレーニングパッドⅢまたはトレーニングパッド使用できます。

ハートスタートトレーニングパッドⅢ

AEDトレーナ3へのハートスタートトレーニングパッドⅢの接続は、以下の手順に従って行います。

- 1 ハートスタートトレーニングパッドⅢを台紙に付けたまま保管用の袋から取り出します。
- 2 接続ケーブルを保管用の袋から取り出します。パッドケーブルを接続ケーブルに接続します。



- 3 接続ケーブルの黄のコネクタをAEDトレーナ3前面のパッドコネクタポートに差し込みます。カチッと音がするまでコネクタをしっかりと差し込みます。
- 4 パッドがプリコネクされたAEDトレーナ3をキャリングケースに入れます。ケースは、パッドがプリコネクされた状態でAEDトレーナ3を収納できるよう設計されています。

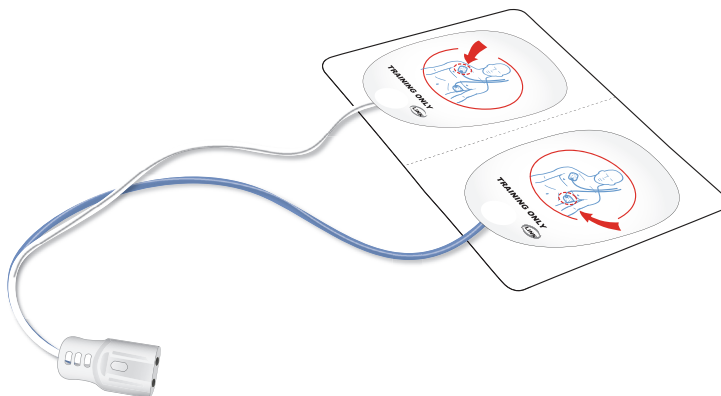
ハートスタートトレーニングパッドⅢは最大100回まで使用できます。性能を確実に持続させるため、パッドを高熱や直射日光の当たる環境に置かないでください。パッドを交換する場合は、AEDトレーナ3からコネクタプラグを取り外して、上記の手順1～3を繰り返します。

セットアップ

レールダル リンク トレーニングパッド

AEDトレーナ3へのレールダル リンク トレーニングパッド接続は、以下の手順に従って行います。

- 1 レールダル リンク トレーニングパッドを台紙に付けたまま保管用の袋から取り出します。

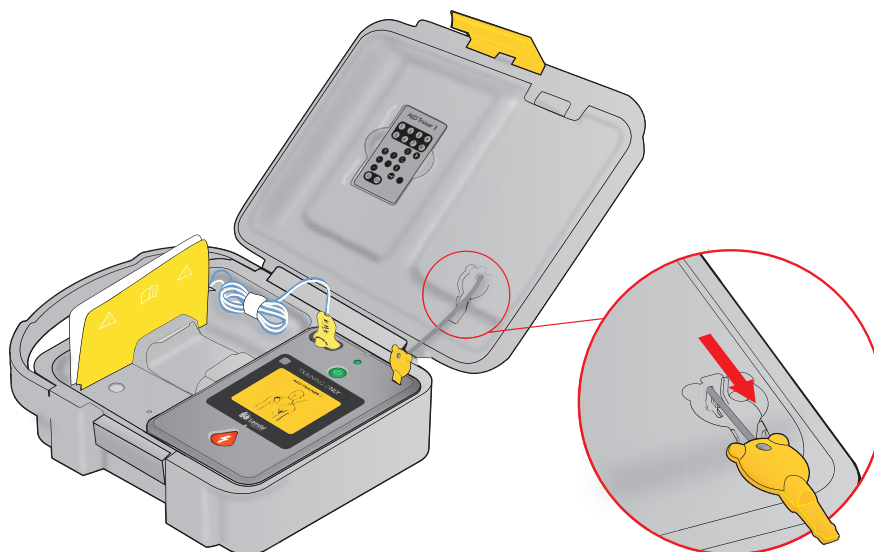


- 2 パッドのコネクタをAEDトレーナ3前面のパッドコネクタポートに差し込みます。カチッと音がするまでコネクタをしっかりと差し込みます。
- 3 パッドがプリコネクされたAEDトレーナ3をキャリングケースに入れます。ケースは、パッドがプリコネクされた状態でAEDトレーナ3を収納できるよう設計されています。

トレーニング用小児用キーの使用

トレーニング用小児用キーは、AEDトレーナ3キャリングケースに固定紐で取り付けられた状態で出荷されます。

トレーニング用小児用キーを使用するには、ケースの蓋のスロットから取り出し、固定紐を伸ばしてAEDトレーナ3の小児用キーポートにキーを差し込みます。



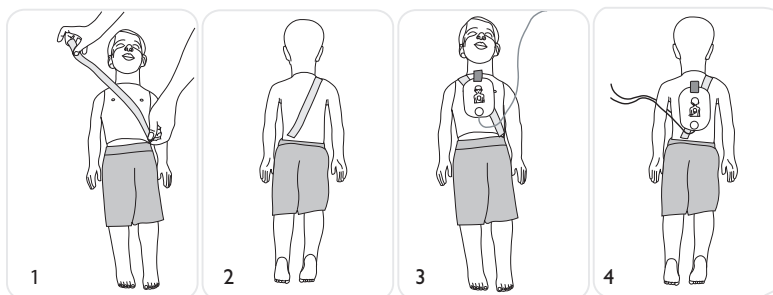
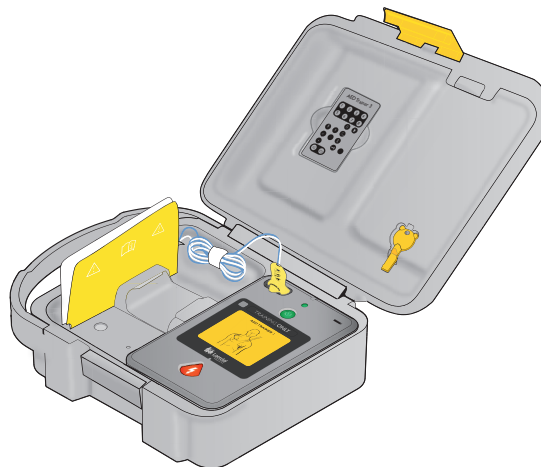
注記： トレーニング用小児用キーをAEDトレーナ3に取り付けたまま保管しないでください。トレーニング用小児用キーは、8歳未満または体重25kg未満の小児の除細動のトレーニングを行う場合のみAEDトレーナ3に取り付けます。

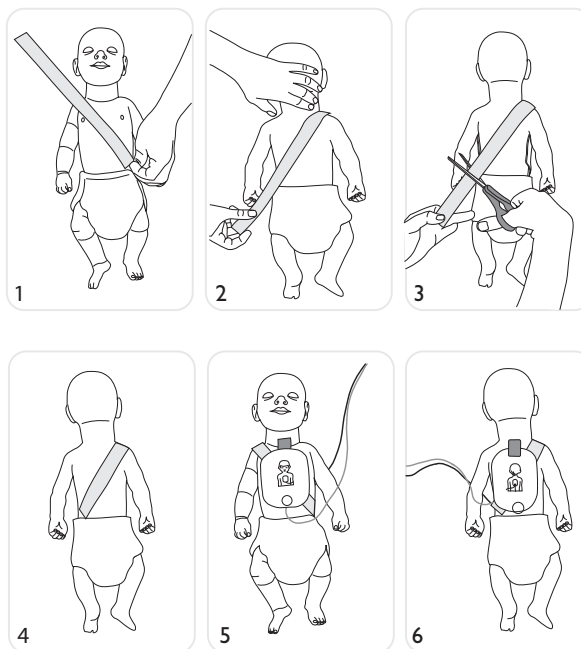
AEDトレーナ3の使用

AEDトレーナ3の使用準備

AEDトレーナ3の電源をオンにする前に、以下の手順を行います。

- 1 説明に従って、パッドがブリコネクトされていることを確認します。「トレーニングパッドの接続」の項を参照してください。AEDトレーナ3の電源を入れたときにトレーニングパッドが接続されていない場合は、パッドを傷病者の胸に直接装着し、ランプが点滅しているソケットに、パッドのコネクタを接続するよう求める音声メッセージが流れます。
- 2 ハートスタートトレーニングパッドIIIを使用する場合は、下図のように付属のトレーニングマネキン用外部アダプタをトレーニングマネキンに装着します。
- 3 図のようにパッドをアダプタの上におきます。





- 4 レールダル リンク トレーニングパッドを使用している場合は、Laerdal AED レサシアン、またはAED リトルアンなど、レールダル リンク テクノロジー を備えたLaerdal マネキンを使用してください。
（レールダル リンク テクノロジー によって、マネキン上のパッドの正しい配置が示されます）。
- 5 小児の除細動のトレーニングを行う場合は、トレーニング用小児用キーを本書の表紙裏面の図に示されたポートに挿入します。小児モードは、8歳未満または体重25 kg未満の小児への除細動のトレーニングを目的としています。*

* トレーニング用小児用キーはAEDトレーナ3と共に保管しておく必要がありますが、小児用のシナリオでAEDトレーナ3を使用する準備ができるまで接続しないでください。

トレーニングシナリオの選択

AEDトレーナ3を使用する準備ができれば、以下の手順を行います。

- 1 緑色のオン／オフボタンを約 6 秒間押し続けてください。AEDトレーナ3 では、オレンジ色のショックボタンを押してトレーニングシナリオを選択するように指示するメッセージが表示されます。
- 2 指示に従って、オレンジのショックボタンを押します。AEDトレーナ3によって現在のトレーニングシナリオの番号が通知されます。
- 3 別のシナリオを選択するには、オレンジのショックボタンを押したまま8種類のシナリオを順にスクロールします。AEDトレーナ3によって現在のシナリオ番号が順に通知されます。**各シナリオの詳細については、「付録」の項を参照してください。**
- 4 希望するシナリオに達したら、電源ON/OFFボタンを押してAEDトレーナ3の電源をオフにし、選択シナリオをオペレーティングシステムカードに保存します。次回AEDトレーナ3の電源をオンにしたときに、選択したシナリオがアクティブになります。



注記： 使用しない状態が10分間続くと、AEDトレーナ3は自動的にオフになります。

トレーニングシナリオの実行

トレーニングシナリオを実行するには、電源ON/OFFボタンを押してAEDトレーナ3の電源をオンにします。次にAEDトレーナ3の音声指示に従って緊急時に FR3 を使用するためのシミュレーションを行います。**トラブルシューティングについては、「トラブルシューティング」の項を参照してください。**

付録

パラメータの設定	40
トレーニングシナリオ	42
リモコン	44
トラブルシューティング	45
仕様	46
関連規格/規制について	47
記号の定義	47

パラメータの設定

パラメータの設定

AEDトレーナ3では、次のパラメータの設定が可能です。初期設定は太字で示しています。

パラメータ	設定値	説明
音量	大 、中、小	AEDトレーナ3のスピーカーの音量を設定します。
ショックシリーズ	1 、2、3、4	基本となるCPRプロトコルが自動的に開始されるまでの間に実行される、シリーズ内のショック回数を設定します。
ショックシリーズ 間隔（分）	1.0 、2.0、無制限	実行されたショックを現在の連続するショックとしてカウントするかどうかを判断する時間を設定します。このパラメータは、ショックシリーズが2回以上に設定されている場合に限り適用されます。
メトロノーム	ON、 OFF	心肺蘇生法の胸骨圧迫の自動音を有効（「ON」）または無効（「OFF」）にします。
AEDトレーナ2 リモコン	有効、 無効	AEDトレーナ3のリモコンの代わりとして、AEDトレーナ2のリモコンの使用を有効にしたり、無効にします。
マネキンのLED	ON、OFF	マネキン胸部の体表にある、正しいパッド装着位置を示す除細動パッドLEDの自動点灯を有効（「ON」）、あるいは無効（「OFF」）に設定します。OFFにすると、LEDはリモコンを使用した場合にのみ点灯します（この機能はレールダル リンクの電極とレールダル リンクのマネキンを使用している場合にのみ適用されることに注意してください）。
成人の基本CPRタイマー （分）	1.0、1.5、 2.0 、2.5、3.0	成人の基本となるCPRプロトコルの長さを設定します。
小児の基本CPRタイマー （分）	1.0、1.5、 2.0 、2.5、3.0	小児の基本となるCPRプロトコルの長さを設定します。
成人のNSA時CPRタイマー	1.0、1.5、 2.0 、2.5、3.0分	成人の基本となるCPRプロトコルの長さを設定します。
小児のNSA時CPRタイマー	1.0、1.5、 2.0 、2.5、3.0分	小児の基本となるCPRプロトコルの長さを設定します。

パラメータ	設定値	説明
成人のCPR優先タイマー (分)		現在は機能しないパラメータ。
小児のCPR優先タイマー (分)		現在は機能しないパラメータ。
CPRタイプ		現在は機能しないパラメータ。
トレーニングシナリオ	1、2、3、4、5、6、7	AEDトレーナ3の電源をオンにした時点で使用されるトレーニングシナリオを設定します。
レールダル リンク トレーニングパッドの装着許容誤差	スケールを「小さい」から「大きい」へスライド	レールダル リンク マネキンへのトレーニングパッドの装着について、必要な確度を指定します。許容誤差が小さいほど、より正確にパッドを装着する必要があります。

トレーニング・シナリオ

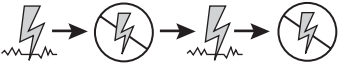
トレーニングシナリオ

以下で定義されている記号は、トレーニングシナリオの定義を表します。

記号	シナリオの説明
	AEDトレーナ3によってショックが必要な調律が検出される。
	AEDトレーナ3によってショックが不要な調律が検出される。
	AEDトレーナ3によってパッドの問題が検出される。
	AEDトレーナ3によって「CPR優先」プロトコルが開始される。

AEDトレーナ3では、次のトレーニングシナリオを使用できます。

トレーニングシナリオ	記号	説明
1	 →  1回のショックが必要	• ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律
2	 →  →  調律変更後、1回のショックが必要	• ショック不要な調律 • ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律
3	 →  →  パッドのトラブルシューティング、1回のショックが必要	• パッド接触不良 • ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律

トレーニングシナリオ	記号	説明
4	 除細動後の再除細動	• ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律 • 3分後再度ショックが必要な調律 • 細動を停止するのに1回のショックが必要 • ショック不要な調律
5	 ショック不要な調律	• 終始ショック不要な調律
6	 2回のショックが必要	• ショックが必要な調律 • 2回のショックを実施 • ショック不要な調律
7	 CPR優先、1回のショックが必要	• ショックが必要な調律 • CPR優先 • ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律
8	 ショックが必要な調律	• 終始ショックが必要な調律

リモコン

リモコンのボタンの機能について以下に説明します。

ボタン	機能
	シナリオの選択。 8つの標準シナリオの1つを押して選択します。（AEDトレーナ3によって選択されたシナリオが開始されます。）
	一時中断/再開。 「一時中断」を押すと、AEDトレーナ3のすべての動作が中断されます（AEDトレーナ3の中断中は、AEDトレーナ3のON/OFFランプがゆっくりと点滅します）。中断した時点から動作を再開させるには「再開」を押します。
	ショックが必要な調律。 このボタンを押すと、ショックが必要な調律をシミュレートします。（この機能は実行中のシナリオより優先されます）。
	ショック不要な調律。 このボタンを押すと、ショック不要な調律をシミュレートします。（この機能は実行中のシナリオより優先されます）。
	CPR優先。 このボタンを押すと、ショックが必要な調律のシミュレーションが行われます。AEDトレーナ3によって最初の心電図解析からCPR優先が決定され、それに続く心電図解析でショックが決定されます。（この機能は実行中のシナリオより優先されます）。
	良好なパッドの接続。 このボタンを押すと、AEDトレーナ3とパッドとの良好な接続がシミュレートされます。（この機能は物理的なパッドの装着位置 / 接続状態の検出より優先されます。）
	パッド接続不良。 このボタンを押すと、AEDトレーナ3とパッドとの接続不良がシミュレートされます。（この機能は物理的なパッドの装着位置 / 接続状態の検出より優先されます。）
	体動アーチファクト。 このボタンを押すと、心電図解析に影響する体動アーチファクトのシミュレーションが行われます。（この機能によって解析が中断され、AEDトレーナ3から使用者に動かないように指示する音声メッセージが出力されます。）
	マネキンのパッドLED。 このボタンを押すと、マネキンの胸部のパッド装着位置を示すLEDが点灯します。（レールダル リンクの電極とレールダル リンクのマネキンを使用している場合にのみ適用されます。）
	エラー状態。 このボタンを押すと、AEDトレーナ3でAEDのエラー状態のシミュレーションが行われます。（AEDトレーナ3の電源がオフになり、10秒ごとにピープ音が鳴ります。）  注記： エラー状態を解消して、さらに使用するためにAEDトレーナ3の電源をオンにするには、緑の電源ON/OFFボタンを2回押します。
	AEDのバッテリー残量低下。 1回押すと、AEDトレーナ3のバッテリー残量低下状態がシミュレートされます。もう1回押すと、バッテリーの交換を求めるメッセージが流れます。
	スピーカー音量。 このボタンを押すと、AEDトレーナ3のスピーカー音量が「大」、「中」、「小」の三段階のいずれかに設定されます。

トラブルシューティング

AEDトレーナ3を使用する場合のトラブルシューティングを下表に示します。さらにサポートが必要な場合は、レールダルヘルプデスクにお問い合わせください。または、www.laerdal.comを参照してください。

問題	原因	対処法
AEDトレーナ3が動作せず、電源をオンにするとピープ音が鳴る。	オペレーティングシステムカードが挿入されていない。	オペレーティングシステムカードを挿入してください。
	不適切なカードが挿入されている。	正規のオペレーティングシステムカードを挿入してください。
	オペレーティングシステムカードが破損しているか、ファイルが見つからない。	交換用のオペレーティングシステムカードを入手してください。
パッドをマネキンに装着する前にAEDトレーナ3から「解析中です」というメッセージが出力される。	ハートスタートトレーニングパッドIIが接続されており、AEDトレーナ3はパッドコネクタのプラグが差し込まれると直ちにパッドがマネキンに装着されていると検出する。	ハートスタートトレーニングパッドIIを使用する場合は、AEDトレーナ3に接続する前に、パッドをマネキンに装着します。または、ハートスタートトレーニング・パッドIIIまたはレールダルリンクシステムを使用してください。パッドが正しく接続されたことをAEDトレーナ3が自動的に検出します。
パッドをマネキンに装着してもAEDトレーナ3が反応しない。	レールダルリンクトレーニングパッドがレールダルリンクテクノロジーのマネキンに正しく装着されていない。	パッドを正しく装着します。
AEDトレーナ3のバッテリーがすぐに消耗する。	1つまたは複数のバッテリーの方向が間違っています。	バッテリースロット内の図に従って、バッテリーを装着し直してください。

仕様

AEDトレーナ3	仕様
寸法	218 mm × 133 mm × 57 mm
質量（電池を含む）	600 g
電池のタイプと数量	単三アルカリ電池（LR6） × 4
電池の容量	> 10時間
環境仕様	動作温度：10℃～35℃ 保管温度：0℃～40℃ 相対湿度：0～90%（結露なし）
材料	筐体：アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン（ABS） コントロール・ボタン：シリコン 脚部：ポリウレタン（PU）
キャリングケース	仕様
寸法	362 mm × 290 mm × 132 mm
質量	300 g
材料	ポリエチレン
ソフトケース	仕様
寸法	170 mm × 245 mm × 110 mm
質量	270g
材料	ポリエステル
リモコン	仕様
寸法	96 mm × 54 mm × 6 mm
バッテリーのタイプ	リチウムCR2025 3V
トレーニング用小児用キー	
寸法	48 mm × 25 mm × 7 mm
材料	ポリカーボネイトおよびポリブチレン・テレフタレート（PC + PBT）

関連規格/規制について

本製品は、以下に準拠することにより、電磁両立性に関するCouncil Directive 2004/108/ECの必須要件に準拠しています。

- IEC 61000-6-3 Electromagnetic Compatibility (EMC) - Part 6-3: generic Standards - Emission standard for residential, commercial and lightindustrial environments(2006)
- IEC 61000-6-1 Electromagnetic Compatibility (EMC) - Part 6-1: Generic standards - Immunity for residential, commercial and light-industrial environments

本製品は、FCC Part 15 Radio Frequency Devices, Subpart B – Unintentional Radiators (May 2004)に準拠しています。本機器はFCC Rules（連邦通信委員会規則）のPart 15に従っています。動作にあたっては、以下の2つの条件が課せられています。（1）本機器は、有害な妨害を発生しない、かつ（2）本機器は、望ましくない動作を引き起こす妨害を含む、すべての妨害に曝されるものとします。

本機器はFCC RulesのPart 15に従うClass Bのデジタル機器の制限事項に準拠することがテストによって確認されています。これらの制限事項は居住環境への設置時に有害な影響から適切に保護されるよう設計されています。本機器は高周波エネルギーを生成、使用、放射するため、指示に従って設置や使用をしない場合は、無線通信に対する有害な干渉の原因となる場合があります。ただし、特定の設置状況で干渉が生じないことを保証することはできません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は（機器のオフとオンを切り替えることによって判別可能）、以下の1つ以上の対処法によって干渉の是正を試みることが推奨されます。

- 受信アンテナの方向を変えるか位置を変える。
- 機器と受信機の距離を増やす。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または有資格のラジオ / テレビ技術者に問い合わせる。

記号の定義

記号	定義
	本製品は、EMC に関するEU指令 2004/108/EC の基本要件に準拠しています。 本製品は、特定有害物質使用制限 (RoHS) に関するEU指令 2011/65/EU に準拠しています。
	本製品には天然ゴム・ラテックスは使用していません。
 N25270	Australian EMC認定マーク
	再生紙使用。
	本製品は、European DirectiveのWaste Electrical and Electronic Equipment（WEEE、電気 / 電子機器の廃棄に関する指令）（2012/19/EU）に従うマーキングを実施しています。

Reference to Global warranty:

For information on Laerdal's Global Warranty, please refer to the website www.laerdal.com.

Technical Assistance

For Technical Assistance please contact your local Laerdal Technical Service Centre.

グローバルワランティについて

当社のグローバルワランティの詳細については、当社Webサイト（www.laerdal.com）を参照してください。

テクニカルサポート

テクニカルサポートについては、レールダルヘルプデスクにお問い合わせください。

© 2014 Laerdal Medical AS. All rights reserved.
Manufacturer: Laerdal Medical AS
P.O. Box 377, Tanke Svilandsgate 30, 4002 Stavanger, Norway
T: (+47) 51 51 17 00

Printed in China

20-02971 Rev G

www.laerdal.com



Laerdal
helping save lives